

防雨型 品番 JFAX31850・JFAX31851〔電池内蔵〕 (ムシベール)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

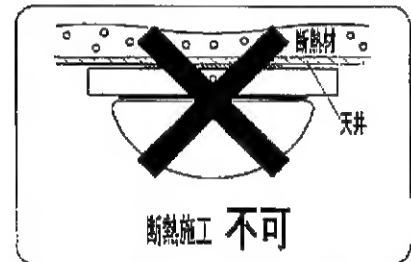
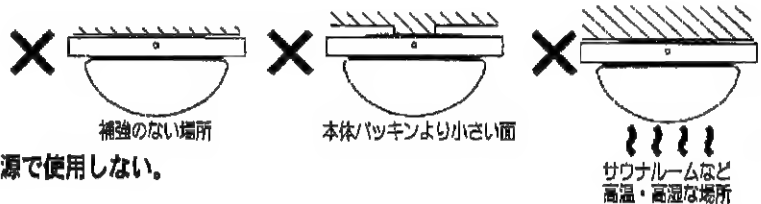
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

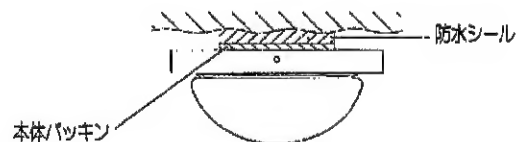
⚠ 警告

- 施工は取付方法にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 壁面取付の場合、器具に表示してある方向に取付ける。
また右図のような場所には取付けないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい、必ずD種 (第3種) 接地工事を行う。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。
- 蓄電池を短絡、分解等しない。
火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 天井直付対応器具ですが、断熱材・防音材の施工された天井には取付けない。
火災の原因となります。



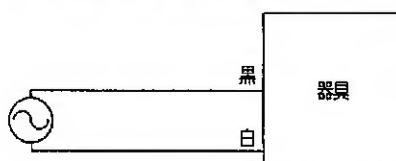
⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・漏電の原因となります。
- 取付面と本体バックインとのすきまは、必ず防水シールなどで埋めてください。
この器具を天井につけてご使用される場合は、必ず付属の防水バックインで水抜き穴をふさいでください。
防水が不完全な場合、浸水による火災・感電の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以外では使用しないでください。
蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
- 48時間充電後→非常点灯の確認をしてください。
電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。
- この器具は常時、連続点灯して使用してください。
常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
階段通路誘導灯としてご使用の場合は、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。

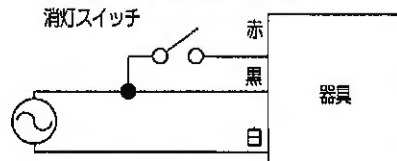


配線種類

・常時消灯しない場合の例 (2線式)



・常時消灯する場合の例 (3線式)



(端子台の赤色絶縁線を取外す。)

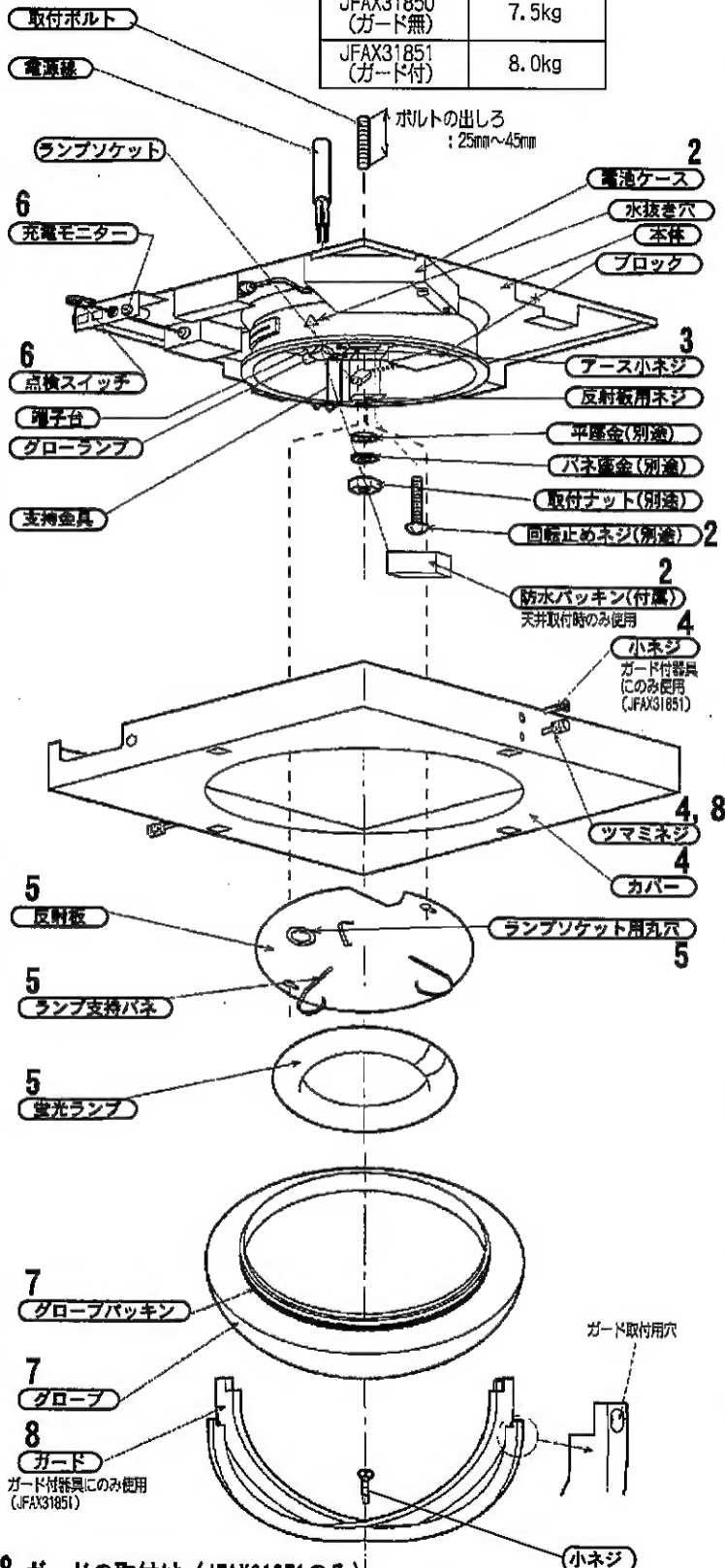
各部のなまえと取付けかた ⚠ 注意 (お調べの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。)

⚠ 警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

(別表)

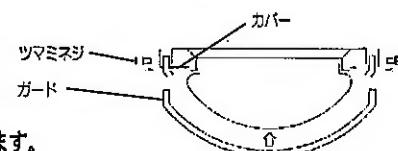
品番	器具質量
JFAX31850 (ガード無)	7.5kg
JFAX31851 (ガード付)	8.0kg



8. ガードの取付け (JFAX31851のみ)

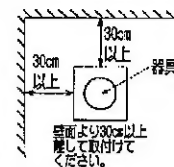
- ガードを小ネジにて組み立ててください。
- ガードの取付用穴をツマミネジの取付けに合うようにカバーの穴に差し込み、ツマミネジで取付けてください。

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。



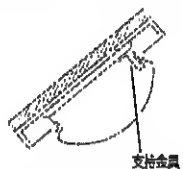
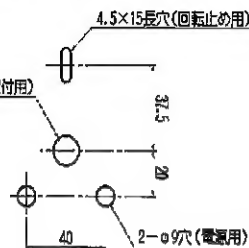
1. 取付前の確認

- 器具質量 (別表参照) に十分耐えるよう取付ボルト部の強度を確保してください。取付けに不備があると落下の原因となります。
- ガード付器具の場合は30cm以上離して取付けてください。(ドライバースペース)



2. 本体の取付け

- 本体を取付ボルトに確実に取付けてください。(取付ボルトはW3/8又はM10を使用してください。)
- 回転止めネジ (別添) で器具を固定してください。回転止めをしないとグローブが外れなくなります。
- 壁面及び傾斜天井取付の際は支持金具を上向きに、水抜き穴が下になるように取付けてください。取付けが不完全な場合、落下・感電の原因となります。
- 天井付の場合は、必ず付属の防水パッキンで水抜き穴をふさいでください。
- 器具取付部分 (電源穴、取付穴、回転止用穴) の周囲から水が入らないように必ず防水シールなどで埋めてください。不備があると浸水による感電・火災の原因となります。

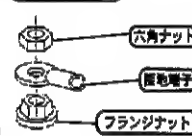


3. 電源線、アース線の接続

- 接地端子を利用してD種 (第3種) 接地工事を行い、電源線を接続し、通電してから蓄電池のコネクタを接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

適合電線: 1.6, 2.0 (単線)

アース仕様



4. カバーの取付け

- 点検スイッチとカバーの切欠きが同じ方向になるようにカバーを本体にかぶせ、ガード無器具の場合はツマミネジで、ガード付器具の場合は小ネジで左右から取付けてください。

5. ランプの取付け

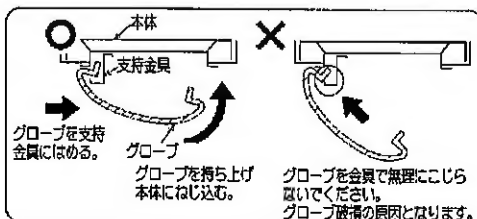
- 反射板の丸穴にランプソケットを通してから反射板を取付け、蛍光ランプにランプソケットを接続し、ランプ支持パネに蛍光ランプを取付けてください。

6. 充電モニターの点灯確認

- 蛍光ランプが正常に点灯しているか、充電モニター (緑色のランプ) が点灯しているかを確認してください。点検スイッチを引き、非常点灯するか確認してください。正常に動作しない場合は『故障かな? と思ったときは』の項を参照してください。

7. グローブの取付け

- 充電モニターが点灯しているのを確認してからガラスグローブを両手で時計方向にまわして本体に取付けてください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いをするなどの異常を感じた時は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためず。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります※1。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

- 低誘虫の効果は、虫の種類（う光性の有無）、周囲の環境（付近に明るい光源がない等）によって異なります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ・グローランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- 部品の交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

品番	蛍光ランプ	グローランプ	蓄電池
JFAX31850			FK617
JFAX31851	FCL30ENW/28	FG-1E	(4.8V 2500mAh)

●蓄電池交換方法

蓄電池は、本体の中に入っています。下記の要領で行ってください。

〈ガード付器具（JFAX31851）〉

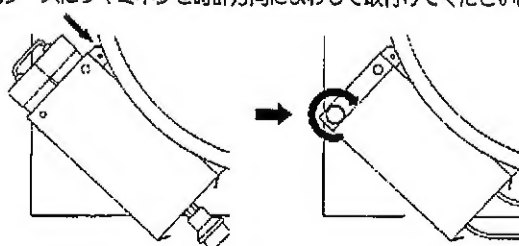
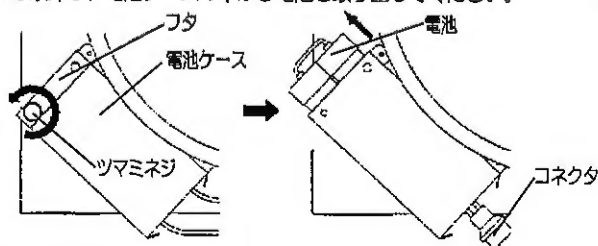
1. カバー側面のツマミネジを取外してガードを取外してください。
2. ガラスグローブを両手で反時計方向にまわして本体からガラスグローブを取外してください。
3. 小ネジを取外してからカバーを取外してください。
4. 下の方法にしたがって蓄電池を交換してください。

〈ガード無器具（JFAX31850）〉

1. ガラスグローブを両手で反時計方向にまわして本体からガラスグローブを取外してください。
2. カバー側面のツマミネジを取外してカバーを取外してください。
3. 〈ガード付器具（JFAX31851）〉と同じ方法で蓄電池を交換してください。

電池のコネクタを外してから電池ケースのツマミネジを反時計方向にまわしてフタを取外し、電池ケースの中から電池を取り出してください。

新しい電池を電池ケースに収納してから電池のコネクタを接続しフタを電池ケースにツマミネジを時計方向にまわして取付けてください。



5. 小ネジでカバーを取付けてください。
6. ガラスグローブを両手で時計方向にまわして本体に取付けてください。
7. ガード取付用穴が左右になるようにカバーに取付け、左右からツマミネジで取付けてください。

4. ツマミネジでカバーを取付けてください。
5. ガラスグローブを両手で時計方向にまわして本体に取付けてください。

○定期点検 3ヶ月に1回は、破裂、変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず非常点灯持続時間(30分以上)、切替動作などの機能点検を合わせておこなってください。
(点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。)

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは △注意(お調べの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。)

表に従ってお調べいただき、なお異常のある場合は、すぐ電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

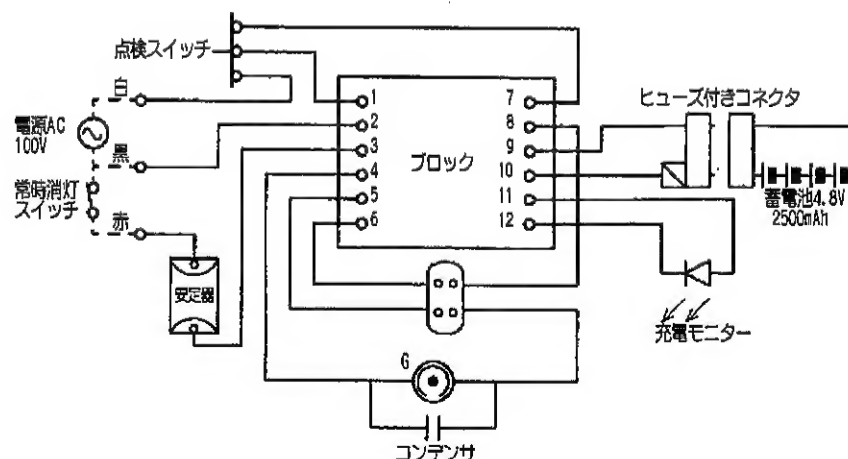
現 象	考えられる原因	処 置
●常時、蛍光ランプが点灯しない	グローランプの緩み	グローランプを締め直す
	蛍光ランプの寿命	蛍光ランプを交換する
●非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する
短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	電池交換する
●充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する

器具定格・接続図

●定格

品番	摘要	起動方法	ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	非常時光束比
JFAX31850	常 時	グロー式	1×FCL30ENW/28	AC100V	0.64A	37W	—
JFAX31851	非常時	—		密閉型Ni-Cd蓄電池 4.8V 2500mAh			40%

●接続図



Ni-Cd

この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な資源です。
ニカド電池の交換、及びご使用済みの電池の破棄に際しては、ニカド電池を取り出しリサイクルにご協力ください。